

この度は弊社製品をご採用いただきありがとうございます。

施工終了後この説明書をお施主様にお渡しください。

木質フローリングは、天然木を使用して作られております。空気中の水分を吸収し膨らんだり、吐き出して収縮したりします。床下等からの湿気を受け易いため、下記の保管及び施工前の準備を必ず守って下さい。

- ・反り・歪みを防ぐため、平らなところに均一に重ねて保管して下さい。
- ・施工の約1週間前には開封し、現場の湿度になじませて下さい。
- ・施工面が水平であることをご確認ください。
- ・下地には12mm厚以上の合板を捨て貼りして下さい。
- ・床下の換気を充分に行えるように換気口等を設けて下さい。
- ・床下からの湿気が多い場合は、0.1mm以上の防湿シートを併用して下さい。

換気が充分でない場合、施工後に“腐れ”・“突上げ”・“床鳴り”が発生する恐れがあります。

- ・表面には、3～3.5mmの天然木の挽き板を使用しております。無垢材の特徴でもあります色の濃淡や、木目柄のバラつきが生じます。事前に仮並べをして、バランスを取って施工して下さい。
- ・当製品は、内装用です。外装には使用しないで下さい。

三層フローリング

三層フローリングとは、表層、中間層、下層からなる三つの積層によって作られたフローリングです。中間層は一般的には針葉樹を直交方向に入れサネの役目を持たせております。一般的な無垢フローリングに比べると、伸び縮みはかなり少なく、無垢材では反り・捻じれ等の現象が起こる為、商品化できなかったワイド幅をラインナップする事が可能となっております。

伸び縮みが少ない為、スペーサーを入れる必要はありませんが、サネの貼り合わせは多少緩めで施工して下さい。また、現場によって、広い面積に貼る場合、室内の隅(巾木下)等クリアランスが取れるところはできるだけ取るよう調整して下さい。なお、本商品の床表面温度は28℃以下とし、電気パネル式床暖等のパネル温度は40℃以下で設定して下さい。温度の上げ過ぎはフローリングの収縮、割れ、反り等の原因となりますのでご注意ください。

床暖房の効き目は悪くなりますが(ボンドの設置面積を増やすため)床暖房器具の上に耐水合板を1枚敷き、その上にフローリングを施工して下さい。

ワイドフローリング

90mm巾超のワイドフローリングは90mm巾以下のフローリングに比べ、伸縮率が大きくなる傾向にあります。厚みを一般的な15mmよりも厚くとった物であれば、それと比例して巾を広くとっても伸縮率はあまり変わりませんが、15mm厚では90mm巾を超える場合は通常のフローリングより多めにクリアランスを確保し施工して下さい。

複合フローリング

1. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤を使用して下さい。
2. スクリュー釘かステープル釘(38mm以上)を使用して下さい。約45度の角度で小根太に確実に打って下さい。その際、無理に叩き込んだりしないでください。
3. 部屋の端部においては、フローリングの端面の突合せ部から5mm程隙間を設けて施工して下さい。

床暖使用の場合

1. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤(床暖対応用)を使用して下さい。
2. 床暖房の効き目は悪くなりますが(ボンドの設置面積を増やすため)床暖房器具のその上にフローリングを施工して下さい。
3. フローリングと発熱パネルの配管方向は直行するように施工して下さい。
4. スクリュー釘かステープル釘(38mm以上)を使用して下さい。約45度の角度で小根太に確実に打って下さい。その際、無理に叩き込んだりしないでください。
5. 発熱パネルの釘打ち位置にご注意ください。パイプ位置に釘を打ち込みますと故障や水漏れの原因となります。
6. ダミー合板へは小根太の延長線上(303mmピッチ)で接着剤と塗布し、釘を打ち施工して下さい。
7. 部屋の端部においては、フローリングの端面の突合せ部から5mm程隙間を空けて施工して下さい。

パーケットフローリング

特徴

パーケットフローリングは自然素材のため、木の特徴である板柱目混合、濃淡、節、入皮が風合いとして含まれており、パテ処理したのも入っております。

下記の場所での使用はお勧めしておりません。

- ・地下室等、通気が悪く、1年を通じて湿気の高い場所。
- ・水のかかる場所（トイレ・洗面室・外部など）
- ・モルタル下地、不陸がなく(1mで、3mm以内の仕上げレベル)含水率が10%以下に乾燥していること。出入口の下地レベルは、特に制度を要するので、丁寧に調整を行ってください。
- ・床仕上げ面は材料の仕上りの厚み(15mm)を標準とします。
- ・下地面のレイタンスは削り取り、油污れは溶剤拭きなどした上で、下地面を清掃してください。
- ・貼り込みに先立ち割り付けを行い、縦横の目違いのないようにゴムハンマーなどでたたき締め、市松模様に貼り込んでください。
- ・接着剤は、市販のエポキシ系の接着剤またはウレタン樹脂系の直張り専用の接着剤を使用してください。
- ・乾燥材の為、ビニール梱包から出した品物は、即日ご使用ください。

注意点

パーケットフローリングは材料の形状から、貼り締めていきますと、縦横の目がズレていきます。ゴムハンマーを使用し、縦横通りの微調整をしながら施工してください。

また、ある程度貼ったら、今まで貼ったところを再度確認し、目地のズレ・すき間等の補正をしてください。

微調整、確認、補正を繰り返し行いながら施工してください。

※ゴムハンマーを使用する際、直接商品を叩かず、当て木を必ず使用してください。

床材の伸びを吸収するため、全周に空隙を設け、シーリング等を行ってください。

各種フローリングの注意点とクレーム規約

各フローリング商品は天然木を使用し作られているため、どうしても多少の不具合が生じる場合があります。どうぞ木材という事をご認識いただきご理解ください。施工される前の商品につきましては、万一不具合が生じた場合、お取替え、返品に応じさせていただきます。既に施工されました後の商品につきましては、交換返品クレームの対応は出来かねますので施工説明書をお読みいただき商品をご確認のうえ施工されますようお願いいたします。

- (1)各フローリング商品は天然木を使用し作られているため、ご使用されます部屋・現場の湿度温度などの環境条件で膨張したり収縮したりいたします。その結果、膨張作用からフローリングのネジレや突き上げ、あるいは板中の誤差や表面亀裂が生じ、又、収縮作用からジョイント間に隙間等が生じる事があります。これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。
- (2)天然木を使用し作られているため、人工乾燥材であっても稀に木くい虫の卵が原木内に入っている事があります。時間が経過し卵が成虫となり羽化してフローリングの表面から出て来る事があります。現在、日本でも生産国でも強度の防虫剤の使用は制限されており防虫に対応する事はできません。万一、ご使用されているフローリングに虫害が生じた場合、処理のお手伝いはさせていただきますが、これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。
- (3)施工に際し (A)ご使用されます接着剤は床専用接着剤(ウレタン系)を必ずご使用ください。水性接着剤をご使用されますとフローリングが接着剤に含まれる水分の作用で膨張し突き上げやカップソリを生じる事がありますのでご注意ください。
(B)フローリングを施工する時締めすぎますと板の膨張作用により板が押し合い、特に木の素性が良くない場所に亀裂が生じたり、あるいは床の突き上げ状態になることがありますのでご注意ください。
- (4)養生テープによる塗装の剥がれるトラブルがあります。多くのメーカーさんが多種の養生テープを販売されています。ご使用になる養生テープの使用説明書をご確認の上、現場使用してください。特に日光が当たる場所、圧力が掛かり密着している場所、素材の状態が良くない場所などでは養生テープを剥がす際には塗装面が剥がれることがあります。これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。